



自分も仲間も大切にされ、安心して自分らしくいられる神戸小

お茶畑の緑が鮮やかに映えるすがすがしい季節、5月5日は「こどもの日」です。子どもの頃、ゴールデンウィーク終盤にあるこの祝日に幸福を感じていたことを思い出します。法律では「子どもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」とその趣旨をうたっています。「母に感謝する」の部分を知らず、優越感まで感じていたことに、今は「ごめんなさい」です。



「自分も仲間も大切にされ、安心して自分らしくいられる神戸小」今年度の学校経営方針です。お家の方にとって、お子さんが何ものにも代えられないかけがえのない宝物であることは言うまでもありません。そのお子さんがあえて集い、通ってくる学びの場が「学校」です。「自分も仲間（地域の友達）も大切にされること」を学び、「自分も他人もかけがえのない存在であること」を実感できることが大前提だと考えます。

さて、4月に全国学力・学習状況調査が行われ、本校の6年生も全員が粘り強く取り組みました。今年度の小学校国語の問題に「オニグモじいさんの朝ごはん」（松井スーザン「はらっぱのおはなし」1996年あかね書房）の物語がありました。よいお話だったので、学校司書さんに探してもらいました。この絵本は現在出版されておらず、市内の図書館にも1冊しかないとか。新聞には掲載されたので、ぜひ読んでいただきたいと思います。「じまんの巣をすこしはなれたところからながめてみることにしよう」とくさむらに出たオニグモじいさんに、一匹のハエの女の子が近付いてうれしそうに話しかけるところから、この物語は始まります。この危ういシチュエーションから繰り広げられるオニグモじいさんとハエの女の子のやりとりが何とも味わい深いのです。オニグモじいさんの優しさが、子どもたちの希望ある未来を願って止まない神戸地区の地域の方々の姿と重なりました。6年生の子どもたちには、限られた回答時間の中でしみじみ読み味わうことができなかつたでしょうから、改めて読んでもらおうかなと思っています。

これから総合的な学習の時間や生活科等で地域の方々にご協力いただくことが続きます。「大切にされている」と感じた時には「ありがとうございます」と喜びや感謝を表現できる神戸小でありたいです。

ようこそ、1年生！！

1年生は特別な存在ですね。どの学年も意識の変化で大きくステップアップしています。



1年生。先生のお話をしっかり聴いて、神戸小学校の生活リズムに慣れてきています。



2年生「学校たんけんスタンプラリー」1年生に校内を楽しく案内しました。



6年生「1年生を迎える会」1年生へのきめ細かな配慮と優しい言動に感心しました。



お兄さん、お姉さんと登校。安全確認をしっかりとっています。朝のあいさつもできます。